

一、体制の決定について。

去る五月〇×日、政治局会議は中央特奥体制を整備するための若干の討議をし、次の体制をそのた。

- 一、編集長に佐々木和雄同志を送出し、編集・財政担当（兼任）の松村同志を財政・租税担当とする。

# 同盟財政を確立し党的活動の基盤強化をか

## ちとれ 一四五月同盟費の完納と一時金カンパの展開を

けり同盟は七回大会において『戦後』週刊化、  
 『共産主義』隔月刊化、地又党への常任配置を  
 同盟の基本路線実現への主たる戦略的任務とし  
 て決定し、この決定に基づき中央政治局は最大の  
 努力を重ねてきた。これらの作業を実現、より  
 確実なものとして拡大、発展を及らとつてゆく  
 ために、財政・資金向きの解決をせまられてい  
 る。

われわれの活動が日本の金融界にまで  
 どの影響力を及ぼすか、そのことは  
 今後の活動の最大限の大家性、公  
 然活動の準備をしなければならぬ。  
 したがってこの活動は「一般の運動・  
 宣伝の運動」でも、現権力の脱離を  
 目的とするものではない。むしろ、  
 資本主義の主体的条件を打破する  
 ための活動である。非合法  
 ・非公然の条件を必要とするもの  
 ではない。

また同盟の資金活動の展開にあって  
 は、確認のべきポイントの点は、革命的情  
 勢の主体的な決定の要因である。わ  
 れらの本格的準備の端緒としてまた  
 この活動の提起は、この同盟の

の。そのためこの同盟の中心は、中核  
 と組織能力の強化である。その中心  
 となる、組織的には、その中心  
 まで、目的の達成の組織を全面的に導  
 ける。組織の中心となるべきは、  
 ある。それは、この同盟の中心となる  
 組織の中心となるべきは、この同盟の  
 中心となるべきは、この同盟の中心  
 となるべきは、この同盟の中心となる  
 べきは、この同盟の中心となるべき  
 である。

また同盟の資金活動の展開にあって  
 は、確認のべきポイントの点は、革命的情  
 勢の主体的な決定の要因である。わ  
 れらの本格的準備の端緒としてまた  
 この活動の提起は、この同盟の

われわれの活動が日本の金融界にまで  
 どの影響力を及ぼすか、そのことは  
 今後の活動の最大限の大家性、公  
 然活動の準備をしなければならぬ。  
 したがってこの活動は「一般の運動・  
 宣伝の運動」でも、現権力の脱離を  
 目的とするものではない。むしろ、  
 資本主義の主体的条件を打破する  
 ための活動である。非合法  
 ・非公然の条件を必要とするもの  
 ではない。

また同盟の資金活動の展開にあって  
 は、確認のべきポイントの点は、革命的情  
 勢の主体的な決定の要因である。わ  
 れらの本格的準備の端緒としてまた  
 この活動の提起は、この同盟の

また同盟の資金活動の展開にあって

は、確認のべきポイントの点は、革命的情

勢の主体的な決定の要因である。われ

われらの本格的準備の端緒としてまた  
 この活動の提起は、この同盟の

また同盟の資金活動の展開にあって  
 は、確認のべきポイントの点は、革命的情

勢の主体的な決定の要因である。われ

また同盟の資金活動の展開にあって  
 は、確認のべきポイントの点は、革命的情  
 勢の主体的な決定の要因である。われ

われらの本格的準備の端緒としてまた  
 この活動の提起は、この同盟の

また同盟の資金活動の展開にあって  
 は、確認のべきポイントの点は、革命的情

奥は極力日和見主義のおとし穴にはまることにならざるであらう。(この相対的発露の去則的向題にいついかなるなたを対応しようか、これらるロシタリア諸党のなご衷の現代革命党と諸派・オニインターフェイスを区別するオニの宿願である。

(三)

資金活動の原則的活動それ自体もしくわ同盟の現状及らしてこれらめて苛酷をきめてして全同盟に加えられる。たとえれば同盟下地方香取会連は一人五〇〇〇円の同盟費でもつてその地方における同盟活動・大衆闘争を拒絶して(一)ることな報告されている。

そこをくわしより重要なることは及なる資金提供が中央機関の諸活動に集結されることの意義を、さらに鮮明な意志統一として全同盟にうつらたてることである。それはわが同盟の全口、全地域における諸活動すべて統一された同盟活動の一環としてあつて、そしてまた全口全地域の常任活動家や中央から派遣される部方として系統化されていくこと、このような諸訓練に乏しいことの結果である。われわれはオニ田舎において、戦後、の向題にかんじて「すべての社会民主主義者や社会民主主義的新聞の仕事に従事」(レーニン)すべきであるという観念がうあうゆる機関紙編集、経管、そして組織の仕事に全口的な力を

要請した。このことは全同盟の活動のすべてについておしうづらねばならない。同盟費の定期的完納、一時金カバの向題について、われわれはそれを正に規律一般および資金需要の必要とするべているのでなく、まさにそのような同盟全口全地域体制の向題として、かかる革命的規律を要請して行るのであつて、そしてまたわが同盟はかかる革命性を基礎としてのみ前進しよう(一)ことを主張するものである。

(四)

去る五月××日、P、B会談は財政向題について若干の討議をこし、つぎの事項を要した。

- ① 去る六月十日までに同盟費、四、五百分を完納する作業をする。(都の、および中央機関の常任活動家らへへ)
- ② 夏季一時金カンパは、同盟員一人あたり一時金収入の三割を占める。
- ③ 同盟者に対し一時金カンパを要請する、これはすべて中央機関へ集中心をいす。
- ④ 中央機関メンバーは、以下の必要に応じて二十万円以上を各自均等負担し、集めること。
- ⑤ 同盟一時金使途計画(単位千円)
- ⑥ 同盟の返済 五九〇、
- ⑦ 戦後、同刊化のために、高橋克敏へ借入の残欠× 二五〇、

- ⑧ 二重闘争支援のための 一〇〇、
  - ⑨ 地下垂の移転 一〇〇、
  - ⑩ 常任体制維持 三三八、
- 合計 一三五八、
- (一)だけの各項目は、絶対不可欠のものであり、後続二三五八千円の日権達成のために、中央機関費を軸として全方をあけていく。

→ 救援資金カンパについては、→ 同盟費のなかで、以前三日間の街頭カンパについては、その一割を地区財政、一割を中央財政への(一)へ割を対本部へ分割する。

なお、一時金カンパについては、別紙申請書を活用して、資金活動を展開し、中央へ集中してほしい。地方および地区における特殊経路に対してはこの都度協議して定める。

× × ×

